

出入国在留管理政策懇談会第5回会合資料における補足説明

項番	資料頁	項目	説明
1	5	I O M自主的帰国及び社会復帰支援プログラム	I O M自主的帰国及び社会復帰支援プログラムは、母国に帰国し生活することが目的であり、まず、I O M担当者によるカウンセリングを受けることになるが、目的等に合致しない場合には、取りやめる場合も一定数ある。
2	8	自発的な帰国を促す措置など	出国命令の対象者は被摘発者より出頭者の方が多い。摘発については、夜の店や工場に摘発に行くことよりも、最近では農家に行くことが大幅に増えている。
3	9	3 か月ごとの収容の見直しに基づく報告	被収容者に係る3 か月ごとの収容の見直しの際、地方局が引き続き収容すると判断した場合には、本庁に報告することになる。本庁において、監理措置相当と判断した場合には、監理措置決定をすべきことを命じることとなる。 令和6年6月10日から同年12月末までの間、報告を受けた件数は128件であり、監理措置決定をすべきことを命じた件数は10件ある。
4	10	在留特別許可の適正化	令和5年入管法改正前の在留特別許可は、入国審査官の違反審査、特別審理官の口頭審理を経て、法務大臣に対して異議の申出をした場合に限り、法務大臣の裁決の特例として行われており、在留特別許可の判断までの期間が長期化する一因となっていたが、令和5年改正入管法で創設した在留特別許可申請手続においては、手続の迅速化という観点から、退去強制手続の対象者が、法務大臣に対する異議の申出を経ることなく申請を行うことが可能となった。
5	11	送還停止効の例外規定	送還停止効の例外に該当し得る人の数は時点によって刻々と変わるので一概には言えない。

6	14	国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン	不法滞在者ゼロプランに記載のある「ルールを守らない外国人により国民の安全・安心が脅かされている社会情勢」は、現在、どのような社会情勢であるかという認識を示したものであり、「ルールを守らない外国人」は、出入国在留管理庁が所管する手続の対象となる外国人のみを指すわけではないが、不法滞在者ゼロプランの各施策の対象となる外国人は、当然、出入国在留管理庁が所管する手続の対象となる外国人である。
7	15	護送官付き国費送還にかかるコスト	国費送還は年間数億円のコストがかかっている。送還の際には、被送還者1名に対し3名以上の護送官を付すこととしており、護送官は往復のチケット代が必要なことなど自費出国の場合よりコストがかかる。退去強制令書が発付された者に対しては、可能な限り自発的な帰国やIOM自主的帰国及び社会復帰支援プログラムでの帰国を促しているものの、送還忌避者が一定数存在することから、護送官付き国費送還の促進を図っている。
8	15	護送官付き国費送還に係る手続	国費送還は、在京大使館等関係各所との調整など手続に2か月程度かかることもあることから、帰国希望の者が単にチケット代を負担したくないがために送還忌避であると偽り護送官付き国費送還を受けようとするとは考え難い。帰国希望の者は、チケット代を払ってでも早く帰国したいと考える傾向にある。
9	15	護送官の人数	護送官には、暴れる人を制圧するための（被送還者も自らも怪我をしない）高い技術、護送官間の高度な連携が必要であり、相当程度の経験も必要で、これらを満たした人物の確保が必要となるため、護送官の確保には苦慮しているところである。女性の護送官についても、一定数いるところ、女性の被送還者に対しては女性の護送官を付けることとしているが、その確保には苦慮している。 このため、護送官の育成に取り組んでいるところである。
10	15	国費送還の諸外国による事例	例えば、米国は軍用機を使用しているとの報道があるが、被送還者1人当たりのコストは相当高額であると報道されていた。
11	17	入国警備官採用試験	入国警備官は公安職であり、行政職に比べて俸給表上の俸給は高い。また、階級制度もあり、キャリアプラン等目標をもって職務に励むことができる。 入国警備官採用試験は高卒程度対象試験であるが、大卒者が受験することもある。学力試験のほか、立ち幅跳びと上体起こしなど体力試験も試験項目にある。 一般職の公務員とは違い、入国警備官独自の採用試験であるが、入国警備官の認知度が十分でないことも採用が少ない1つの要因となっている。

12	17	医師の採用活動	常勤医師は直接雇用であり、定員12名に対して、令和7年4月時点で現在員は4施設で5名（東日本、東京、横浜、名古屋2）である。常勤医師のほか、非常勤医師は業務委託するなどしている。 収入が民間の医師に比べて低いこと、医師の数が少なく、医師同士の相談ができないことなどが医師の確保に苦慮している原因であると思われる。
----	----	---------	---